

保護者の皆様へ

愛西市立草平小学校  
校長 前田由美子

## 令和7年度学校評価の結果について

余寒の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、12月に実施しました学校評価（保護者アンケート）の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。ご多用の中、ご協力いただきありがとうございました。

このアンケート結果を十分に検討し、次年度の学校経営に生かしたいと思っております。今後もさらに学校教育の充実に努めていきます。引き続き、ご理解とご協力をお願いします。

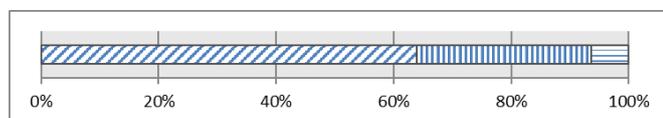
## 記

各設問には、4：そう思う 3：少しそう思う 2：あまりそう思わない 1：そう思わない  
で回答していただきました。（回答数229）

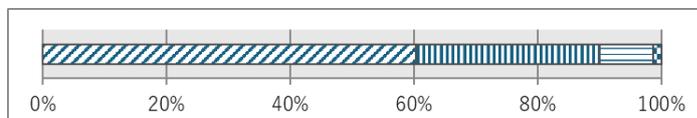
グラフでは、左から、4、3、2、1の順で表示しました。

**Q1：教職員は、児童理解に努め、あたたかい雰囲気の中で学級を運営している。**

&lt;R7年度&gt;



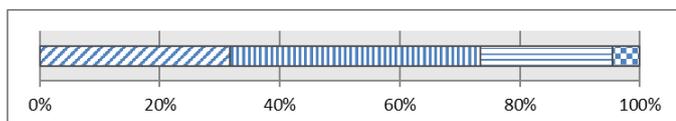
&lt;R6年度&gt;



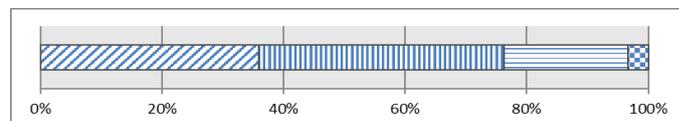
回答4と3が90%→94%となり、昨年度より4%向上し、極めて高い水準となりました。多くの保護者が教職員の児童理解や学級経営に肯定的な評価を示していることがわかります。引き続き、一人ひとりの児童に寄り添い、誰にとっても安心できる学級づくりを目指してまいります。

**Q2：児童は、家庭学習によく取り組んでいる。**

&lt;R7年度&gt;



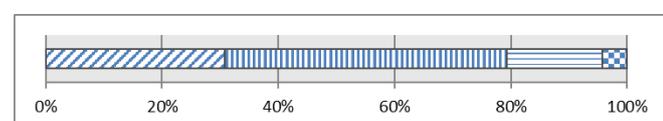
&lt;R6年度&gt;



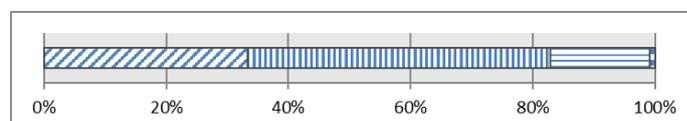
回答4と3が76%→73%となり、昨年度より3%程度減少しました。タブレット端末の活用は進んでいますが、家庭での定着には個人差が見られます。今後も児童が主体的に取り組める課題の工夫を重ね、家庭学習の習慣化を支援してまいります。

**Q3：児童は日々の学習内容をよく理解している。**

&lt;R7年度&gt;



&lt;R6年度&gt;

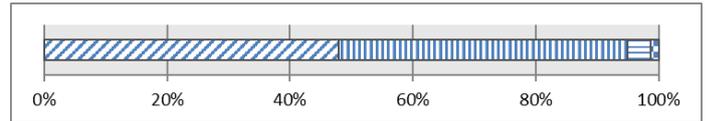
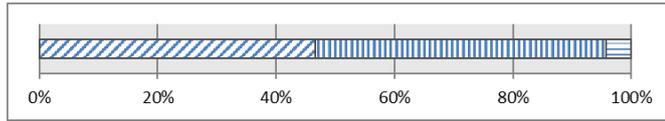


回答4と3が83%→80%となり、昨年度より3%程度減少しました。ICT機器の活用により興味・関心は高まっていますが、確実な定着にはさらなる支援が必要です。今後も、児童が自信を持って学びに取り組めるよう、個に応じた授業改善を進めてまいります。

**Q 4 : 児童は、家庭や地域の生活の中で、ルールやマナーを守って生活している。**

<R 7 年度>

<R 6 年度>

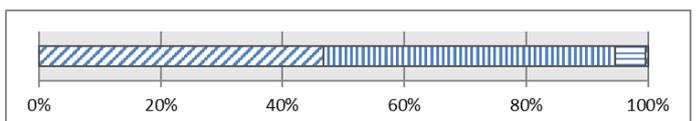
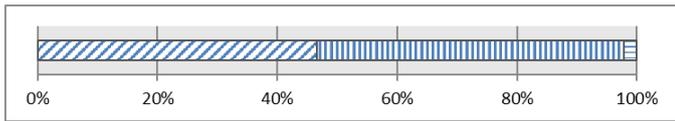


回答 4 と 3 が 95%→96% となり、昨年度と同程度の高い水準を維持しています。多くの児童が家庭や地域の生活において適切な行動をとれていることが確認されました。引き続き、正しい判断や行動ができるよう指導を継続していきます。

**Q 5 : 児童は、思いやりをもって人に接したり、協力したりする態度が育っている。**

<R 7 年度>

<R 6 年度>

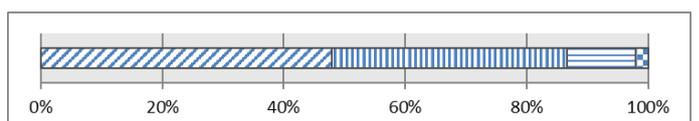
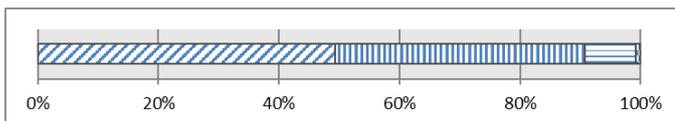


回答 4 と 3 が 93%→98% となり、昨年度と比べ 5% 向上しました。道徳の授業や日常の学級活動を通して他者を思いやる心が豊かに育まれていることがわかります。今後も、相手の気持ちを考えた言動の大切さを、日常のあらゆる場面で伝えていきます。

**Q 6 : 教職員は、児童を十分に理解し、児童も教職員を信頼している。**

<R 7 年度>

<R 6 年度>

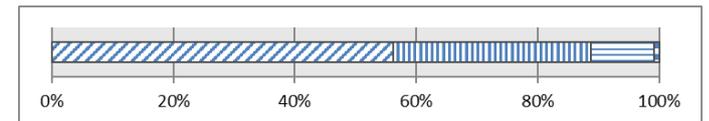
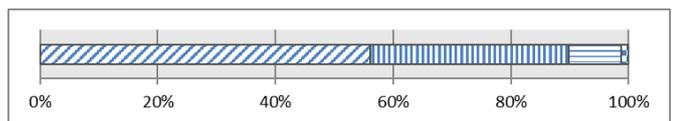


回答 4 と 3 が 87%→91% となり、昨年度より 4% 向上しました。児童一人ひとりに寄り添い、信頼関係を築こうとする姿勢が評価されています。今後も定期的な教育相談等を実施し、児童の困りごとを的確に把握しながら支援を強化していきます。

**Q 7 : 児童は体育的活動の時間を楽しみにし、励みにしている。**

<R 7 年度>

<R 6 年度>

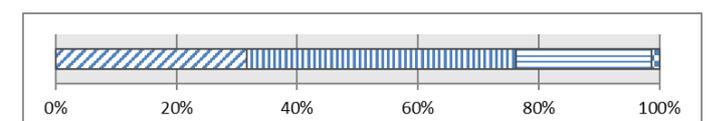
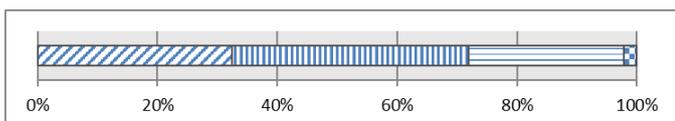


回答 4 と 3 が 89%→90% となり、昨年度と同程度の高い水準を維持しています。体育専科教員による専門的な指導や、のびのびタイム等での活動を通じて、運動の楽しさや技能の向上を実感している児童の姿が多く見られます。今後も、専門性を生かした授業づくりを継続し、楽しみながら体を動かせる環境を整えていきます。

**Q 8 : 児童は、健康的な生活や体作りを意識して生活している。**

<R 7 年度>

<R 6 年度>

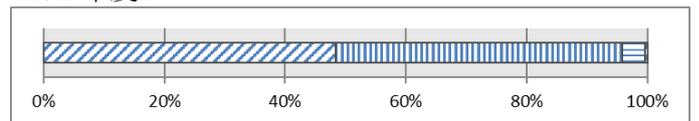
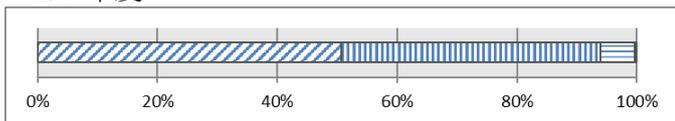


回答 4 と 3 が 77%→72% となり、昨年度より 5% 程度減少しました。体幹トレーニング等の取組は継続していますが、日常生活全体での健康意識には課題が残ります。運動習慣の定着とともに、健康的な生活習慣の重要性を伝えていきます。

**Q 9 : 児童は、交通ルールやけがの防止など安全に気をつけて生活している。**

<R 7 年度>

<R 6 年度>

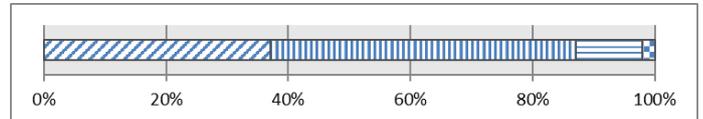
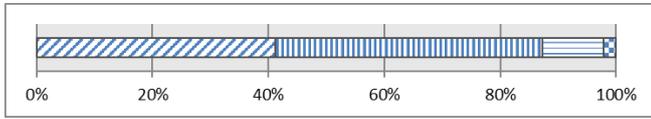


回答4と3が96%→94%となり、昨年度と比べ2%程度減少しました。依然として9割を超える高い水準にありますが、数値がわずかに低下したことを受け、改めて安全指導の重要性を認識しております。今後も交通安全教室や学級活動での振り返りを通じ、児童一人ひとりが「自分の命は自分で守る」という高い安全意識を持って生活できるよう指導を継続していきます。

**Q10：学校は、児童の安全に対して、地域や家庭と連携してよく取り組んでいる。**

<R7年度>

<R6年度>

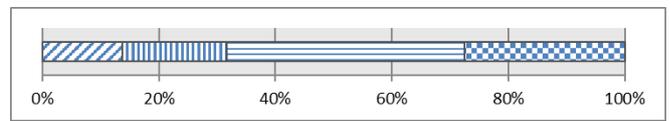
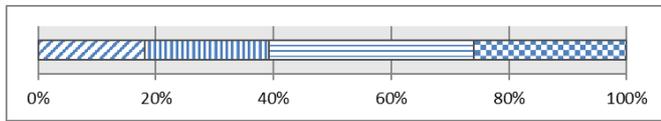


回答4と3が87%→87%となり、昨年度と同水準を維持しています。地域の見守り活動や避難訓練の実施により、安全対策への安心感が得られています。今後も、家庭や地域と密に連携し、より安全な環境づくりに取り組んでいきます。

**Q11：児童は、読書に親しんでいる。**

<R7年度>

<R6年度>

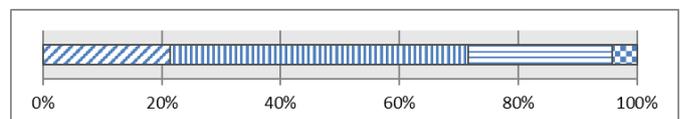
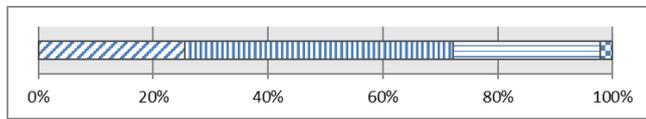


回答4と3が32%→40%となり、昨年度より8%向上しました。朝の読書時間の確保や読み聞かせ活動に加え、今年度は市図書館による団体貸出を積極的に利用したことで、児童が多様な本に触れる機会が増え、好結果につながったと考えられます。依然として課題ではありますが、この伸びを大切にし、さらなる読書習慣の定着を促していきます。

**Q12：児童は、自分の思いをことばで上手に伝えることができる。**

<R7年度>

<R6年度>

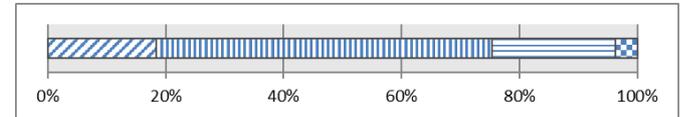
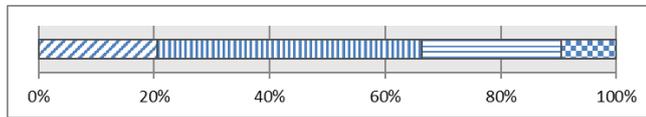


回答4と3が71%→72%となり、昨年度と同程度でした。話し合い活動を授業に取り入れ、自分の考えを整理し発信できる力を育てている最中です。現職教育の成果を還元し、今後も表現力を高める指導を継続していきます。

**Q13：学校の施設は充実していて、環境も整っている。**

<R7年度>

<R6年度>

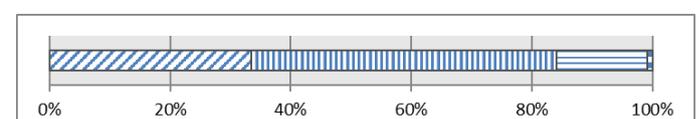
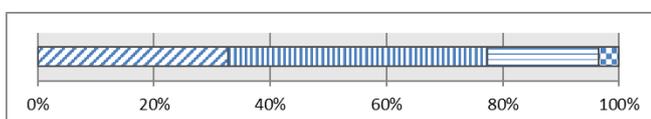


回答4と3が75%→66%となり、昨年度より9%減少しました。ICT機器の活用は進んでいますが、校舎や体育館の老朽化等、ハード面への要望が反映されたと考えられます。安全で快適な環境を維持できるよう、計画的な管理・修繕に努めます。

**Q14：各種のたよりやホームページは学校の様子をよく伝えている。**

<R7年度>

<R6年度>



回答4と3が84%→77%となり、昨年度より7%減少しました。これまでの発信に加え、より今の学校の様子がダイレクトに伝わるよう、情報発信の内容や頻度を工夫し、保護者・地域との連携を深めてまいります。

#### 〈まとめ〉

今年度の学校評価アンケートの結果を総括すると、学校全体として肯定的な傾向が多く見られ、これまで継続して取り組んできた教育活動の成果が着実に表れていることが確認されました。

まず、学習面では、「読書習慣」や「自分の思いを伝える力」において向上が見られました。愛西市の図書館・学校図書館の活用や読み聞かせボランティアの導入などの取組により、児童が本に親しむ機会が増え、読書への意欲の向上につながっていると考えられます。また、現職教育を通じて「書くこと」や「話すこと」を重視した授業改善を進めたことで、児童が自分の考えを言葉で表現する力を伸ばしつつあることが確認されました。今後も、これらの力を各教科の学習や課題解決の場面で活用し、より深い学びへとつなげていくことが重要です。

次に、教職員による児童理解や学級経営については、引き続き高い評価を得ており、昨年度よりさらに向上が見られました。教職員が児童一人ひとりに寄り添い、安心して学校生活を送ることができる環境づくりに努めてきたことが、安定した学級経営につながっていると考えられます。今後も、日常の関わりを大切にしながら、児童との信頼関係をより一層深めていくことが求められます。

一方で、家庭学習への取組や学習内容の理解に関する項目では、わずかな低下が見られました。学校で身につけた力を家庭での学習へとつなげることが課題であると考えられます。今後は、授業で育成した表現力や読書習慣を生かし、自ら考え、まとめ、伝える活動を取り入れた家庭学習の工夫を進めるとともに、家庭との連携を一層深めていく必要があります。

また、生活面や健康面においては、体育的活動への意欲が引き続き高い水準で維持されており、児童が運動に親しみながら学校生活を送っていることが確認されました。今後も、児童が主体的に体を動かし、体力の向上を図ることができるよう、継続的な取組を進めていくことが重要です。

施設・環境面については、昨年度と比較して評価の低下が見られました。学習活動の充実に伴い、設備や環境への関心が高まっていることが背景にあると考えられます。今後は、整理整頓や備品の有効活用を進めるとともに、安全で快適な学習環境の維持・改善に努めていく必要があります。

全体として、今年度は「読書」や「表現力」に関する取組の成果が着実に表れ、児童の学びの質の向上が見られました。今後も、これまでの成果を生かしながら、家庭や地域との連携を深め、児童一人ひとりが主体的に学び、安心して成長できる学校づくりを推進していきます。